

## 社会人・経済人を含め、効果の上がる勉強方法を考える

—「人生は青天井、一生青天井」「一生勉強、一生青春」—

2023年2月8日(水)

12:00～13:30

日本工業倶楽部3階大ホール

— ごあいさつ —

本日は、産業懇談会でお話する機会を与えていただき、心から感謝いたします。

- (1) 学習塾を始めてから 43 年が経ち、多くの塾生や保護者・地域社会の皆様から、「効果の上がる学習方法」がわからず悩んでいるとの相談を受けております。
- (2) ならば、自分の失敗談も含め、また、社会人にもお役に立つ「効果の上がる学習方法」をとりまとめてお伝えしようと、CRT ラジオ栃木放送で毎週土曜日 9:15 ～ 9:25 まで「開倫塾の時間」という番組でお話を始め、この 3 月で 37 年目になりました。本日の卓話では、社会人を含め、「効果の上がる学習方法」をお話させていただきます。
- (3) また、僭越ではありますが、経済同友会の一員として、経済人(ビジネス・ステーツマン)として「効果の上がる学習方法」とは何か、そのあるべき姿も考えさせていただきました。どうかよろしく願いいたします。

開倫塾

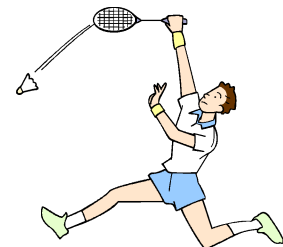
塾長 林明夫

○ここ 20 年来、経済同友会・栃木県経済同友会・群馬経済同友会の会員として、中学校・高校・大学・大学院などで出張授業を月 1～2 回行っております。  
出張授業の最初に、自己紹介代わりに「私の好きなことば」を紹介しています

Q 1 :好きなことばはありますか。自己紹介代わりに、林さんの好きなことばを紹介してください

A :あります。たくさんあります

- (1)「人生は青天井、一生青天井」
- (2)「一生勉強、一生青春」 (相田みつを)
- (3)「教育ある人とは、一生学び続ける人」 (ドラッカー)
- (4)「持続する志」 (大江健三郎)
- (5)「歴史における個人の役割」 (プレハーノフ)
- (6)「目には遠いが、心は近い」 (インドのことわざ)
- (7)「ブルドッグ魂」…食いついたら離すな (岡田忠治)
- (8)「練習で泣いて、試合で笑え」 (椎名弘)
- (9)「一所懸命」…一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組む (足利高校・マラソン大会)
- (10)「スポーツの 3 つの宝」 (小泉信三)
  - ①「練習は不可能を可能にする」
  - ②「フェアプレイ」…いやしいプレイはしない
  - ③「よき友」
- (11)「注意一秒、ケガ一生」 (宮沢浩一)
- (12)「会った人は皆友達」 (石川洋)
- (13)「本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」 (石川洋)
- (14)「離見の見(りけんのけん)」…舞台上で踊っている自分の姿を離れた観客席から見る(世阿弥)
- (15)「価値」「意味」「秩序」 (松永澄夫)
  - ①これから行おうとすることの「価値(大切さ)」とは何か考える
  - ②自分にとっての「意味」を考え、「意味付け」を行う
  - ③では、どうしたらよい考え、自律的に「秩序」をもって行動する
- (16)「積せき小しょう為い大だい」小さい事をコツコツ積み上げ、大を為す(二宮尊徳)
- (17)「健康第一(心の健康、身体の健康)」



<ここでちょっと「コーヒーブレイク」です(第 1 回目)>

皆様の好きなことばは何ですか

\_\_\_\_\_

Q 2 : 「教育の成果」を「決定する要因」は何だと考えますか

A : 「本人の自覚」と「教師(先生)の力量」の2つと考えます

(1)ものごとを学ぶときには、「自覚をもって学ぶこと」をおすすめします

- ①「やりたいこと」「できること」「しなければならないこと」を自分の力で考える
- ②「自分のよさ(潜在可能性)」を自分で見出し、自分の力で、引き伸ばす
- ③「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」「自己学習能力」と考えます

(2)このような意味での「学力」が備わると、どのようなことが可能になるか

- ①「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができる
- ②「正常に機能する社会の形成に貢献」することができる
- ③「自己実現」つまり、「自分の夢や希望を仕事や社会的活動、日々の生活の中で実現すること」ができる→「よく生きる」ことができると考えます



(3)「先生の力量」には、

- ①「本人の自覚を促すこと」も含まれると考えます
- ②「本人の潜在可能性」を本人に気付かせ、自分の力で引き伸ばすことを支援することも含まれると考えます
- ③「そのような力量のある先生」はどこに  
○「われ以外、みなわが師」(吉川英治)という考えも。

Q 3 : 「学習」の成果を決定する要因は何だと考えますか

A : (1)「効果の上がる学習方法」を身に着けていること、  
「学び方を学ぶ(Learning To Learn)」ことができるのは、大切な能力

(2)「学習時間」を確保すること、

(3)「学習するのにふさわしい場所(知的環境)」を見出すこと

- 「松下村塾」(吉田松陰)



Q 4 : 「効果の上がる学習方法」とは、どのように考えたらよいですか

A : 「学習」を「理解」「定着」「応用」の「3段階」に分け、それぞれに適した学習方法を考えることをおすすめします→「学習の3段階理論」と名付けました

(1)＜第一段階＞「理解」とは、「うんなるほどと、よくわかること」「腑に落ちること」

- 「予習」や「授業」「復習」「学び直し」で「理解」を深める

(2)＜第二段階＞「定着」とは、「理解した内容を身に着けること」

- ①「音読練習」とは、「スラスラとよく読めるようになるまで、声を出して読む練習を行うこと」

→「暗唱」とは、「何も見ないで言えるまでにすること」

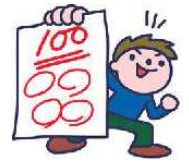
- ②「書き取り練習」とは、「書き順も含め、正確に書けるまでに書く練習をすること」

→「暗写」とは、「何も見ないで書けるまでにすること」



- ③「計算・問題練習」とは、「なぜそのような解答になるのか、よく理解した計算や問題は、計算や問題を見た瞬間に、条件反射で、パッパッパッと正解が出るまでにすること」  
 ○「定着」のために役立つ「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」を、「定着のための3大練習」と名付けました

(3) <第三段階> 「応用」とは、「テストでよい点数がとれること」と「社会で役立てることができること」と考えます。



Q5：第1段階の「理解」とは何ですか。詳しくお話しください

A：(1) <予習での理解>の方法

- ①学校や講演会などで先生方のお話をお聞きする前に、「教科書」や配布資料をじっくり読み、「予習」をすることが、「理解」に役立ちます  
 \* 一番おすすめは、「テキスト」「資料」をすべて読んでから、「授業」に臨むことです
- ②予習をしていてよくわからない「ことば」に出会ったら、「気持ちが悪い」と思い、  
 スルーしないで、「辞書」や「インターネット」でその意味を調べること  
 ・調べたことは「意味調べノート」や「カード」に書き写し、その場で覚える  
 ・計算や問題は、「ノート」にその答えだけでなく、問題文と途中の計算式なども書いておく  
 ・よくわからないところには、マークをつけておくこと
- ③「予習」とは、「何がわからないか、よくわからないことをはっきりさせてから授業(講義や会議・業務)に臨むために行うもの」と考えます。これが「予習」の「目的」。



(2) <授業やセミナーでの理解>の方法

学校の授業やセミナー研究会などに参加するときには

- ①開始の30分くらい前に教室や会場に到着、先生の姿が一番よく見える席に着席  
 ②始まるまで、使用しているテキストやノート、資料を読み直し、その日の授業のところまで、「復習」をすること  
 ③その日のテキスト資料に目を通し、「予習」。  
 頭をフル回転して授業に臨むと先生の授業がよく理解できます  
 \* 「完全習得理論 (Perfect Mastering Theory)」  
 新しいものごとを完全に理解するには、それまで学んだことを理解し、身に着ける
- ④大切なポイントは、すべてノートに取る。すべてメモし、書き残すこと  
 \* 質問や発言する際に、必ずメモし、ポイントを絞って、手際よく行うこと  
 \* 大切なことを、メモ(ノート)できるのは、極めて高い言語能力



(3) <「復習」で理解を確実に>

「授業・セミナー」が終わったら必ず「復習」すること

- ①「復習」とは、その日の「授業・セミナー」を思い出しながら、「テキスト」や「資料」「ノート」などを、もう一度、じっくり、一語一語読み直し、どのような内容か、正確に「理解」し、「理解」を深めること

②「ノート整理」を行うこと

- ・大切な語句には「印」を
- ・大切な語句や文章は「四方を線」で囲む  
あとで読みやすく、学びやすくするために行うのが  
「ノート整理」です



\*かつて、東京工業大学で「ノート考」という展示会がありました。  
熱心な東工大生は、「授業ノート」を「製本」し、学び続けていたようです。  
「My Notebook」づくりをおすすめします

- ③よく意味がわからない語句は、「辞書」や「インターネット」で調べ、「ノート」に書き留めておく。「英語」は、「発音記号」も付記。できれば「英英辞典」を用いる  
○よくわからないことは、よくわからないところまで 遡<sup>さかのぼ</sup>って学び直す  
→「遡<sup>そきゆう</sup>及学習」のススメ！

Q 6 : 第 2 段階の「定着」とは何ですか

A : 「定着」とは、よく「理解」した内容を「身に着ける」ことです。

「定着のため」には、次の「3つの練習」、「定着のための3大練習」が効果的です

(1)「音読練習」

- ①「音読練習」とは「スラスラよく読めるまで、声を出して、読む練習をする」こと
- ②大切なことは、何も見ないで言えるまでにすること→「暗唱」を！
- ③「うろ覚え」は、この「音読練習」と「暗唱」で解決できます



(2)「書き取り練習」

- ①「書き順も含め、正確に書けるようになるまで、何回も書く練習をする」こと
- ②特に、大切な「定義」や「内容」は何も見ないで正確に書けるまでにすること→「暗記」を！
- ③「音読練習」と「書き取り練習」は、高校生以上は余り行いませんが、脳の活性化にも役立ちますので「学習習慣」として、何歳になっても行うことをおすすめします

(3)「計算・問題練習」

- ①「計算・問題練習」とは、なぜそのような解答になるのか、十分に「理解」した「計算」や「問題」は、計算や問題を見た瞬間に、「パッ、パッ、パッ」と条件反射で「正解」が出るまでにすることです
- ②条件反射で解答できる問題が増えると、テストなどで、初めての問題、特に、思考力を必要とする問題をじっくり時間をかけて解く「余裕・ゆとり」を生み出せます
- ③一度解いた問題の大半を何回も解き直し、条件反射で正解が出るまでにしておくことをおすすめします



定着のための3大練習は、不可能を可能にする

Q7：第3段階の「応用」とは何ですか

A：「応用」とは、「テストでよい点数を取ること」「社会に出てから役立てること」と「定義」

(1)「テストでよい点数を取る」とは、「定期試験で100点満点を取る」こと、「検定試験、国家試験、採用試験などで合格点を取る」ことと考えます

(2)「定期試験で全教科100点満点を取る」ためには、どうしたらよいでしょうか。

①まずは、「予習」し、「授業」「復習」で、しっかり「理解」

②そのうえで、「定着のための3大練習」を確実にやる。試験範囲の

「教科書」「問題集」「教材」「授業ノート」を「すみからすみまで覚える」ことです

③全教科100点満点を取るためには、「定期試験」は1～2か月前から準備を行うことが大切です

(3)「検定試験」や「国家試験」などで合格点を取るためには、どうしたらよいでしょうか

①試験の半年～1年前(難関な試験は2～3年前)に、「受ける試験」を決定することが第一

②「受ける試験」を決定したら、「できること」「やりたいこと」「しなければならないこと」

など自分の頭で真剣に考えた上で、「受験生としての自覚」をもって「受験勉強」に専念

○「過去問10年分を、よくできなかつたところを中心に、『理解』『定着』のやり方を参考に、6回以上解き直す」ことが有効

③「テストでよい点数を取る」ためには、そのテストにふさわしい「効果の上がる学習方法」を身に着けることと同時に、よい点数がとれるだけの「学習時間の確保」準備期間が必要

○時間不足にならないよう、早目、早目の準備を

○授業や仕事がある日は、「1日8時間学習」(1日8時間主義)

○授業や仕事がない日は、「1日12時間学習」(1日12時間主義)

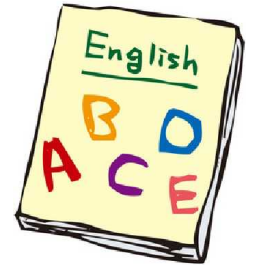
○長時間学習することができることは、大切な能力の一つ。〈長時間自己学習能力〉



Q 8 : 第3段階の「応用」の後半、「理解」「定着」した内容を、「社会で役立てる」ためには、どうしたらよいでしょうか

A : (1)折角、学校や様々なところで学んだ内容は、折に触れて「学び直し」をし、更に「深い理解」、「本質的理解」を心掛けることです。人生は長い。一生かければかなり深く学べます

(2)そのためには、「学校」などで学んだ「テキスト」「教材」「ノート」「辞書」「地図帳」「年表」などは、決して処分しないこと。「整頓(ものは同じところに置く)」を心掛け、常に身近に置き、「折に触れて学び直し」をすることをおすすめします



(3)①学校などで本気で勉強し、定期試験や入試、国家試験などに使用したテキストやノートは、ページを開いた瞬間に先生の姿、教室の雰囲気が思い起こされます。

②テキストやノートがなければ、何も思い出せずに終わってしまいます。

③学校などで「一度学んだ」テキスト、ノートを人生の宝物といたしましょう!!

○手元に教科書がない場合には、「もう一度学ぶ～」などで、中学校、高校、大学の「学び直し」がおすすめです

\*理系教科は、講談社「ブルーバックス」シリーズがおすすめです

Q 9 : 経済同友会の会員として、どのように学んだらよいと考えますか

A : (1)経済同友会は、「企業人」「ビジネス・ステーツマン」として、企業経営を行いながら、自社の発展とともに、国や世界、地域の発展のために、調査・研究・政策提言を行う団体と考えます

(2)経済同友会は、「経済人」「ビジネス・ステーツマン」として最高の学びの場と確信

①「産業懇談会第2水曜グループ」

②「創発の会」「委員会」「会員セミナー」「視察会」

\*視察会には、できるだけ積極的に参加し、見識を深める

\*但し、地域ごとの国際関係委員会は、指名制のため一般会員の参加が制限されているので、海外視察の機会がないのはとても残念

③「学校と企業経営者の会(出張授業)」

④「全国経済同友会セミナー」(今年は長崎)

⑤「東京経済研究所」

⑥「幹事会」「幹事懇談会」

⑦「同友クラブ」(リベラルアーツの学びの場として最高)

- ⑧「各地経済同友会」（支社や事業所の責任者に最適）
- ⑨「Do TANK(ドウ・タンク)」は、素晴らしい発想

(3)折角、参加なさるのなら、「必ず一度は発言」を心がける

- ①事前に資料を読み込み
- ②少し早目に来場し、講師と名刺交換・資料の予習
- ③終了後は、必ず復習。

○講師の著作を書店やアマゾンで購入し、どんどん読む



Q10：経済同友会の会員として、おすすめの本は何ですか。3冊紹介してください

- A : (1)内村鑑三著「後世への最大遺物・デンマーク国の話」岩波文庫 1946年10月10日刊  
 (2)内村鑑三著「代表的日本人」岩波文庫 1995年7月17日刊  
 (3)小川原正道「独立のすすめ、福沢諭吉演説集」講談社学術文庫 2023年1月11日刊

<ここでちょっと「コーヒーストップ」です(第2回目)> \_\_\_\_\_



皆様のおすすめの本は何ですか。3冊紹介してください

- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_





Q11：経済同友会以外でどこで学んだらよいとお考えですか

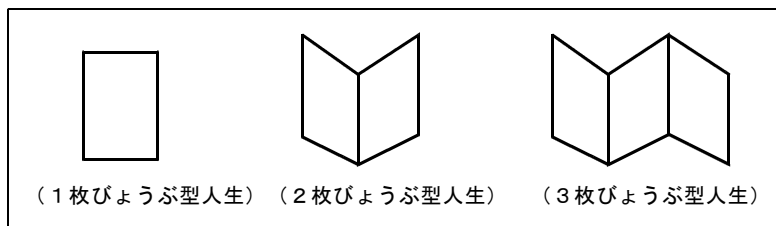
- A : (1) 「日本工業倶楽部」「交詢社」「日本外国特派員協会 (FCCJ)」  
\* 「日本倶楽部」「国策研究会」  
(2) 「World Economic Forum」 \* East Asia Economic Forum \* New Champion  
(3) 「OECD Forum」 (OECD 東京センター)  
\* 「Boao Forum for Asia」  
(4) 「Economic Conference」「Conference Board」  
(5) 「Brookings Institute」 (ブルッキングス研究所)  
(6) 「社会人向け大学院」  
・「国際大学」・「政策研究大学院大学」  
・「東京工業大学 MOT (CUMOT)」  
(7) 「国際問題研究所」 (外務省)  
(8) 「国連大学」 (国連大学友の会)  
(9) 「経済産業研究所 (RIETI)」 (経済産業省)  
(10) 「JETRO」「JICA」  
○ 「技術士」エンジニアとしての最高の国家資格 (まずは「技術士補」から取得を)

Q12：最後に一言どうぞ

- A : (1) 本の読み方は「積せき小為大しょうだい」で  
①最初の 100 ページは、行きつ戻りつ、一語一語、かみしめながら、ゆっくり読む  
本は、頑張って、最後まで読む  
②著者との時空を超えた対話 (どんどん書き込み)  
③本は 6 回読む  
④気に入った著者は、全部読む (一生かけてでも読む)  
⑤気になる分野 (ジャンル) は、アンテナを高く張り巡らす  
(2) 志を同じくする方々と、語り合い、楽しく、学びあう会を  
・仲間をつのり、どんどん開催  
・一番人気があるのは「ミニ・グルメの会」 (墨田・三田会) かも  
〈例〉・交詢社「第 2 火曜会」  
・日本工業倶楽部「教育を語る会」  
・「コンパス・セミナー」



(3) 「びょうぶ型人生」のすすめ



＜ジャンル(分野)＞ごとに、「びょうぶ」を、深化・充実・積み上げて、しっかり立つようにする

- ①本業
- ②社会活動
- ③楽しみ
- ④友人・知人との交流
- ⑤健康



＜ここでちょっと「コーヒブレイク」です(第3回目)＞

御意見・御質問・コメントがあれば、お聞かせください

---

---

---

御清聴いただき心から感謝いたします



お願い

経済同友会は、全国組織です。

全国各地にも経済同友会があり、活発に活動しています。

皆様の企業の支社や事業所の責任者の方々に地方経済同友会で活動するチャンスをお与えください。素晴らしい地域貢献活動になると同時に、本社、支社・事業所の発展にも寄与するものと確信いたします。よろしく願いいたします。